



## 平成22年3月期 決算短信

平成22年5月14日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アルゴグラフィックス  
コード番号 7595 URL <http://www.argo-graph.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役会長  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員  
定時株主総会開催予定日 平成22年6月17日  
有価証券報告書提出予定日 平成22年6月18日

(氏名) 藤澤 義彦  
(氏名) 伊藤 俊彦  
配当支払開始予定日

TEL 03-5641-2037  
平成22年6月18日

(百万円未満切捨て)

### 1. 22年3月期の連結業績(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期	23,037	△19.0	872	△58.0	1,094	△49.6	744	△8.1
21年3月期	28,424	△2.9	2,075	△10.8	2,172	△9.9	809	△32.6

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利 益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
22年3月期	74.75	74.75	5.6	5.3	3.8
21年3月期	82.03	82.03	7.0	10.7	7.3

(参考) 持分法投資損益 22年3月期 14百万円 21年3月期 7百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期	20,771	14,864	64.9	1,355.17
21年3月期	20,489	14,345	63.2	1,301.80

(参考) 自己資本 22年3月期 13,489百万円 21年3月期 12,957百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
22年3月期	1,092	△135	△575	6,089
21年3月期	1,326	△2,933	1,958	5,703

### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
21年3月期	—	—	—	50.00	50.00	497	61.0	3.9
22年3月期	—	—	—	50.00	50.00	497	66.9	3.8
23年3月期 (予想)	—	—	—	50.00	50.00		78.0	

### 3. 23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結結果計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	12,000	10.1	430	99.1	480	63.8	210	72.1	20.09
通期	25,000	8.5	1,170	34.2	1,260	15.2	670	△9.9	64.09

(注) 1株当たり当期純利益は、平成22年3月31日現在の発行済株式数を用いて算出しております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 ー社 (社名 ) 除外 ー社 (社名 )

(2) 連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
② ①以外の変更 無

(注)詳細は、27ページ「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期 10,454,100株 21年3月期 10,454,100株  
② 期末自己株式数 22年3月期 500,250株 21年3月期 500,238株

(注)1株当たり当期純利益(連結)の算定の基礎となる株式数については、48ページ「1株当たり情報」をご覧ください。

(参考)個別業績の概要

1. 22年3月期の個別業績(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期	16,726	△27.3	533	△64.6	730	△55.2	680	12.9
21年3月期	23,008	△2.2	1,508	△19.2	1,630	△22.1	603	△52.9

	1株当たり当期純利益		潜在株式調整後1株当たり当期純利益	
	円	銭	円	銭
22年3月期	68	40	68	40
21年3月期	61	13	61	13

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
22年3月期	16,915		12,527		73.1		1,241	41
21年3月期	16,703		12,091		71.2		1,194	83

(参考)自己資本 22年3月期 12,356百万円 21年3月期 11,893百万円

2. 23年3月期の個別業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期 累計期間	9,760	16.5	370	50.4	560	41.4	320	△1.5	30	61
通期	19,500	16.6	714	34.0	894	22.5	513	△24.6	49	07

(注)1株当たり当期純利益は、平成22年3月31日現在の発行済株式数を用いて算出しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、当連結会計年度末現在において入手可能な情報に基づいて、当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる結果になる可能性があります。

## 1. 経営成績

### (1) 経営成績に関する分析

当連結会計年度における我が国経済は、政府の経済対策や好調な中国経済などに支えられ企業収益の一部に持ち直しの兆しが見られるものの、政権交代への期待感が不安定な政権運営による失望感に変化していく中、一昨年からはじまった世界規模での景気後退の影響から完全には抜け出すことができず、雇用情勢や所得環境は改善が見られないまま、先行きへの不透明感から個人消費が低迷し、更にデフレが進行するという状況で推移いたしました。

当社グループの主要取引先である自動車、電気業界におきましては、環境をテーマにした製品開発や中国市場への本格参入などにより年度後半から足元の業績は改善してきたものの、将来を見据えた設備投資については慎重な姿勢を崩しておらず、本格的な需要回復にはまだしばらく時間がかかるものと思われまます。当社グループの属する情報サービス産業におきましても、こうした影響を強く受け、取引先企業の新規IT投資の削減、規模の縮小、先送りに加え、値引き要求が更に強まるなど、年度を通じて大変厳しい状況に直面いたしました。

このような環境の中、当社グループは、「3次元設計システム」と「CAD応用技術」を中核として、「物造りの全工程を視野に入れたトータルなソリューション提供」について、企業の製造部門ばかりでなく研究開発部門の生産性向上まで提案活動を広げるとともに、サーバーの統合や置き換えによるコスト低減を目指した提案活動を活発化してまいりましたが、急激な需要減及び顧客からの値引き要請等を補うまでには至らず、前連結会計年度の数値を大幅に下回ることとなりました。

その結果として、当連結会計年度の連結売上高は23,037百万円（前連結会計年度比19.0%減）、連結営業利益は872百万円（前連結会計年度比58.0%減）、連結経常利益は1,094百万円（前連結会計年度比49.6%減）となりました。連結当期純利益に関しましては、新株予約権戻入益180百万円を特別利益に、また投資有価証券評価損5百万円及び事務所移転費用14百万円を特別損失に計上した結果、744百万円（前連結会計年度比8.1%減）となりました。

売上高を製品区分別にご説明いたしますと、次のとおりであります。

なお、製品区分の内容に関しましては8ページ「2 企業集団の状況」をご参照下さい。

事業区分	製品区分	前連結会計年度		当連結会計年度		比較増減	
		売上高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
ソリューション ・プロバイダー	PLMソリューション	18,683	65.7	13,667	59.3	△5,015	△26.8
	システム構築支援	7,657	26.9	7,437	32.3	△219	△2.9
	HW保守・その他	2,084	7.4	1,931	8.4	△152	△7.3
合計		28,424	100.0	23,037	100.0	△5,387	△19.0

〔PLMソリューション〕 当社グループの主要顧客である自動車及び電気メーカーの設備投資急減の影響を受け、主力売上であるCADシステム販売が半減した結果、前連結会計年度比5,015百万円（26.8%）減少し、13,667百万円となりました。

[システム構築支援] 非CAD系の民間企業向けビジネスソリューションの販売は伸びたものの、官公庁や民間の研究機関向けHPCシステムの販売不振などにより、前連結会計年度比219百万円（2.9%）減少し、7,437百万円となりました。

[HW保守・その他] HW保守につきましては既存契約の更新に注力いたしましたが、システム販売の不振により新規契約を伸ばすことができず、前連結会計年度比152百万円（7.3%）減少し、1,931百万円となりました。

・次期の見通し

今後の見通しにつきましては、当社グループの主要取引先である自動車、電気業界の設備投資意欲は少しずつ回復しておりますが、どこまでこれが持続し、更に拡大していくかはまだまだ予断を許さない状況にあります。

こうした中において、当社グループは従来の考えに捉われることなく事業領域の拡大を目指してグループ各社一丸となって業績目標の達成に努めてまいります。

平成23年3月期の通期業績見通しは次のとおりであります。

[連結通期業績予想]

売上高	25,000百万円
営業利益	1,170百万円
経常利益	1,260百万円
当期純利益	670百万円







































































































































































